

# INSPIRE No.31

ギフトッドサポートグループミーティング  
ギフトッドの子育てをしている方が集まるミーティングです。今回のテーマは「振り返り」です。良い体験は良い振り返りの機会と仕方によって、私たちのものになっていきます。

日時：9月10日(日)

時間：9:00 - 11:30

対象：保護者、教育関係者

費用：1,000円

場所：スクエア荏原in品川 第3小会議室

東京都品川区荏原4-5-28 (武蔵小山駅徒歩10分)



## Q. ギフトッドサポートグループとは何ですか？

アメリカにもギフトッドサポートセンターがあり、その室長をされているアンさんは、定期的にギフトッドサポートグループミーティングを開催しています。ミーティングでは、ギフトッドに関しての本を事前に参加者が読み、チャプター毎にディスカッションをしながら、ギフトッドに関しての知識を深めているようです。私たちのギフトッドサポートグループミーティング、通称GSGミーティングは、ギフトッドの子育てに必要な鍵コンセプトがあります。例えば、「快適ゾーン」や、「スマートに学ぶ」、「感情知性」などです。そういったコンセプトを一つ選び、ディスカッションを交えて、それらに関する知識を深めていきます。日本においては、ギフトッドの子供だけでなく、子育てをしている保護者も孤立する傾向があります。だから、GSGミーティングは繋がる機会でもあります。ギフトッドの子供たちだけでなく、保護者も繋がる機会です。

## Q. 誰でも参加できますか。

はい、誰でも参加できます。ギフトッドの子育てをしている方だけではなく、育成している教師の方も参加しています。

## Q. 子供も一緒に参加できますか。

はい、ご一緒にお越し頂いても大丈夫です。ワークショップは大人向けですが、子供たちが遊んでいられるスペースやテーブルを確保いたします。

## 夏の中休みの途中の振り返り

アメリカのバズワードとして、今、「子供への言葉かけ」があります。特に、どう褒めるか。日本の保護者は子供への言葉かけをどれくらい意識しているか。色々意見を求められました。私の意見としては、わざわざ無理して褒めなくても良いと思います。大切なのはフィードバックを与えることなのではないでしょうか。そのフィードバックは他人から自分ではなく、自分が自分にあげるのがベストでしょう。それに対して、こちらが、同意したり、質問したり。

「親が子供を褒めるのは良い。子供が自身を褒めるのはなお良い」 - Hiroopher

子供に聞いてみてください。

夏休み中の自分について

1. 自分にイイネをあげるとしたら？ どんなこと？
2. 自分以外で褒めたい人？その理由は？
3. 夏の後半戦を熱く過ごすには？

これから暑い日が待っていると思います。体に気をつけて最高の夏にしましょう！

## ライフスキルよりライフレッスン

私たちは子供のライフスキルにばかり焦点をあてていないだろうか。子供たちは「できる、できない」ばかりに囚われていないだろうか。そして、年齢以上のことを求められ、できる事、できない事に悲観していないだろうか。子供たちは一年一年に細かく成長を区切られ、求められる事が多いのではないだろうか。例えば、6年生に求められるものは、5年生よりはるかに大きい。その点、大人は長い目で見られている。20代、30代、40代など。子供だって長い目で見られたい！

日本の学校では、圧倒的な時間を使い、自分以外のことを学んでいます。そして、自分のことを良く知らない子が多いです。そして、大人になった時、「自分探しの旅」が始まります。大人になってから、「自分探しの旅」が始まるのが決してダメという事ではありません。大切なのは、その旅に出ていく時に持っていく価値感です。それはライフレッスンで学んだ価値です。

## ライフスキルではなく、ライフレッスンはいつ学ぶのでしょうか。

例えば、子供たちはモットーを持って何かに取り組んでいるのでしょうか。先日、キャンプの途中に、キャンプ後の話しをしたら、「今、存在すること」と一喝されてしまった。今、目の前にある機会は瞬く間に過ぎていく。目の前にある物事、人にコミットしなければならない。「Being Present - 存在する」子供たちがそれぞれで決めたモットーみたいです。

## イベントなのか機会なのか。

一年は早いですよね。子供たちとは、時間の感覚が違っていると感じています。子供の一年は長い。大人の三年くらいに匹敵するのではないのでしょうか。例えば、「サマーキャンプに参加する」というのは一つのイベントですが、それが子供にとってイベントなのか、機会なのか。子供たちが大きく成長するのは、安心して、自分の魅力を探求できるという事があります。

## 大人が目線が遠くを見ている。

ライフレッスンを学ぶ機会を考えると、最低でも半年後のチャレンジを考えていることが大切です。実は簡単なようで、そう簡単ではないですよね。それは、子供たちとの距離感が影響するからです。距離感が近いと、現状に必要なサポートに目がいきます。その子の長い目を見た成長というのを、親の希望や期待として話せますが、実際に、半年後のチャレンジとなると、それはどんな姿なのでしょう。そして、その快適ゾーンは親が持つ快適ゾーンに影響されます。

子供が快適ゾーンの外に出ようとすると、大きくブレーキをかける場合もあります。

「まだ、いいんじゃないの？」

「来年はどう？」

「まだ、五年生だから」

親としては「予想通りの成長」より「予想外の成長」の方が嬉しくはないのでしょうか。だから、子供と関わる人たちは常に快適ゾーンの外に出ていくチャレンジをしていくことが望ましいです。まだまだ、夏は終わりません。冒険は続きますね。

## ファッションチェック

みなさん、朗報です！デザイナーのドン〇〇氏が、わがショッピングモールにやって来て、ファッションチェックを行います。我こそはとファッションチェックされたい方は、本日〇時まで、☆モール広場までお越しください。

司会「はい、最初のチェックは高2のS君、キミのおしゃれポイントは？」

S君「トップスは寒色系パーカー、ボトムスはジーンズ。ウエストがゴムであることがおしゃれの最大ポイントです！なるべくユルくて締め付けないのがボクのこだわりです。ブランドはイトーヨーカドー子供服170cmサイズです！」

司会「……。キミ、どうみても180cmはあるよね？なのに170cmの子供服ゴムジーンズっていったい……（汗）！？」

S君「いや～ゴムジーンズは、子供服170cmまでしかなくて……。これは愛着があるので、ツンツルテンでも履きつぶす覚悟ッス！」

司会「……。次のチェックは高1のM君、君のおしゃれポイントは？」

M君「トップスは寒色系の個性的プリントTシャツ、ボトムスはジャージ。ウエストが紐であることがおしゃれの最大ポイントです！なるべくユルくて締め付けないのがボクのこだわりです。ブランドはイオンです！」

司会「……。キミもユルユルがおしゃれポイントなの？？紐（汗）！？」

M君「いや～ヒモジャージはなかなか種類がなくて……。これは愛着があるので、ヒモが擦り切れても履きつぶす覚悟ッス！」

司会「……。で、ではドンさん、おふたりの評価はいかがでしょうか？」

ドン氏「……。う～～ん、ゴムにヒモですか……。おしゃれというよりも、彼らは人物的に奇妙奇天烈！ファッションポイントだけでなく、脳も雰囲気も似すぎていますね～！ユルい着心地好きや締め付け嫌い、たぶんキミたちは今流行りのマフラー等、首まわりのチクチクも嫌いかな？」

S君・M君「ハイ、もちろん大嫌いっす！」

司会「た、た、たしかにキミたちは独特オーラの不思議系男子ですねえ（汗）……。で、で、ではドン氏、判定をお願いします（汗）」

ドン氏「判定不能！たぶんふたりはギフトッド。その特徴である過度激動の感覚過敏のせいで、ユルさにこだわるのではないのでしょうか？ていうかふざけるなー！こんなにもファッションに疎い奴ら、二度と来るなー(怒)！」

S君・M君「ち————ん……………（涙）。」

## ギフトッド思考

ギフトッドを育てるお母さんたちは、普通の子育てと比べると気苦労が多く、学校や本人の不具合により、かなりストレスによるダメージを受けます。お母さん自身の孤立はもちろんのこと、心も身体もむしばまれて病気になりがちですよ？

なぜ、こんなにも切ないのかを考えてみました。それはお母さん自身が、ギフトッド思考を出来ないからなのではないでしょうか？悪く言えばお母さんの思考がギフトッドの我が子とは違う思考なため、理解不可能で寄り添うことが出来ないのだと思います。それを解決するには、まずはお母さんも上手にギフトッド思考を取り入れることをオススメします。

そこで、恥ずかしながら私の取り入れた具体的思考を紹介します。

- ① 常識にとらわれない  
(人・物・金・時間に関する常識は最低限必要だが、常識で固まると飛べない)
- ② みんなが出来ることが今出来なくても平気！違うやり方でいつかできればOK  
(極端に苦手がある場合でも、大人になり補えていれば良いのでは)
- ③ 集団がすべて良いとは思わないこと  
(集団はいざというときには誰も助けてくれない、本当の友達ではないよね?)
- ④ ひとりをさみしいと思わないこと  
(群れないおひとりさまは絶対的に強いのだ)
- ⑤ 定型発達児と比較しないこと  
(そもそも脳の仕組みが違う！比べるなんてナンセンス)
- ⑥ テストの点で一喜一憂しないこと  
(点数ごときで動じない、もっと違うモチベーションやチャレンジがあるはず)
- ⑦ 今すぐ才能開花しなくても、長い目で見守ること  
(才能の出方はギフトッドそれぞれ。今すぐでなくても特性は一生続くのだ)
- ⑧ 定型発達思考も理解させること  
(自己防衛のため多数派思考も理解させる)
- ⑨ ギフトッドは超少数派であるということを自覚させること  
(超少数派であり子供時代に多数派に潰される可能性の自覚、爪を隠す危機管理能力)
- ⑩ ギフトッドと秀才とは似て非なるものと理解すること  
(知能指数が秀才よりうんと高いからといっても、エリートコースやエスカレーターコースには上がれるとは限らない。むしろ上がらない方が多数派)
- ⑪ ギフトッド関連の書物・HP・ブログ・FB・先輩ママ談等、貪欲に学ぶこと  
(わが子の似たタイプを絞り込み、凸凹や性別や年齢による成長過程を予測する)
- ⑫ 報酬システムを上手に取り入れる  
(やる気や自分にチャレンジという理解が遅いくせに、報酬に対しては大人並みに敏感。労働の対価として大人が報酬を受け取るように、目標クリアとしての報酬が効果的な場合もあり。お小遣いを月額定額で渡さない。お手伝い労働でも成績でも宿題でも、なんでも良いから達成率として、成功報酬を本人に決めさせ後払いする)

異論あるかもしれませんが、思いつくのはザッとこんな感じです。我が子のタイプを、ご自身でより研究して、ギフトッド思考を上手に取り入れていきましょう！ M.I.